

特集 文化財企画展に行ってみよう

綾瀬の1950年代～1970年代 うつりかわり



1965年の旧市庁舎付近の田植えの様子



2021年の同左地



綾子さん 誌面でほんの少し紹介します。小学生の綾子

約50年前の綾瀬にはどんな風景があり、どんな暮らしがあったのかわかりますか。

今回は8月に開催する「文化財企画展」を

さんと瀬一さんと一緒に、年代別の綾瀬のまちと住民の暮らしの変化を見て行きましょう。

3つのクイズの答えは、実際に同展に来て見つけてください。

生涯学習課 ☎70・5637



瀬一さん



1964年 新幹線建設工事

交通網もめまぐるしく発展したんだね!



1968年 東名高速道路(東京-厚木間)の開通

1960年代の主な出来事

高度経済成長により社会が大きく変化した年代です。1964年に開催された東京オリンピックに合わせ、東海道新幹線をはじめとしたインフラ整備が日本全国で急ピッチに進められました。クーラーやカラーテレビ、自動車などが普及し、暮らしにも変化をもたらしました。一方で、公害病などの問題も発生しました。

ぼくは学校の給食、大好きなんだ!何を食べているのかな?



1966年 学校給食開始

Q2 このころの給食のメニューは何だろう?



1950年代



1953年頃 高座海軍工廠跡地の大上地区。1946年以降、戦後の食糧難に対応するため、軍用地を開拓し、農地にしました



1951年頃 耕作の様子。耕耘機が普及する前は牛を使って畑を耕していました

畑で牛さんががんばっていたんだね!



1970年代



1972年 建設中の綾西団地。工場進出を受けて、綾瀬の各地で住宅団地の建設が行われました



1978年 町から市へ、綾瀬市の誕生。旧市庁舎前の記念アーチには、横断幕が掲げられました

わたしたちの住む綾瀬"市"の誕生ね。まだ車が少ないなあ



(左) 1954年頃 嫁入り行列。結婚相手の家まで歩いて行き、相手の自宅で結婚式を挙げていました (上) 結婚式で使われていた道具

花嫁さんの行列だ! 当時の結婚式は自宅で行われたんだって!



Q1 結婚式で使われていたこの道具は何だろう?



綾瀬の伝統芸能

Q3 これは何に使う道具でしょう? ヒントは「踊り」



文化財企画展 町から市へ ~時代とともに変わるまち~

時 8月4日(水)~27日(金) 9時~16時30分(8日・9日は休み)

新型コロナウイルス感染症の影響で延期となりました 生涯学習課 ☎70・5637

展示では子どもと、生活することができます。また、綾瀬の様子についても展示します。

1950年代の主な出来事

1954年から神武景気と呼ばれる好景気が発生し、高度経済成長が始まりました。洗濯機や冷蔵庫、白黒テレビ、炊飯器、掃除機といった家電製品が登場し、人々のライフスタイルへ大きな影響を及ぼしました。

1970年代の主な出来事

1973年にオイルショックが起こり、経済の低成長時代へ突入した年代です。テレビ放送の自粛など、節約に徹する「省エネ」がブームになりました。若者の間に「つっぱり」文化が登場し、リーゼントなどが流行しました。